

# RV132WまたはRV134Wルータでのインターネットプロトコルバージョン6(IPv6)スタティックルーティングの設定

## 目的

インターネットプロトコルバージョン6(IPv6)は、IPv4 IPアドレッシング方式を成功させることを目的としたインターネットプロトコル(IP)のバージョンです。IPv6モードでは、ローカルエリアネットワーク(LAN)ダイナミックホストコンフィギュレーションプロトコル(DHCP)サーバがデフォルトで有効になっています。LANに割り当てられたIPv6プレフィックスを使用して、設定済みのアドレスプールからIPv6アドレスを割り当てます。一方、スタティックルートは、パケットが特定のホストまたはネットワークに到達するために必要な事前に決められたパスです。一部のインターネットサービスプロバイダー(ISP)では、ダイナミックルーティングプロトコルを使用する代わりに、ルーティングテーブルを構築するためにスタティックルートを必要とします。スタティックルートを使用する利点の1つは、スタティックルートがピアルータとルーティング情報を交換するために中央処理装置(CPU)リソースを必要としないことです。スタティックルートは、ダイナミックルーティングプロトコルをサポートしていないピアルータに到達するためにも使用できます。

この記事では、RVシリーズルータでIPv6スタティックルートを作成する方法について説明します。

## 該当するデバイス

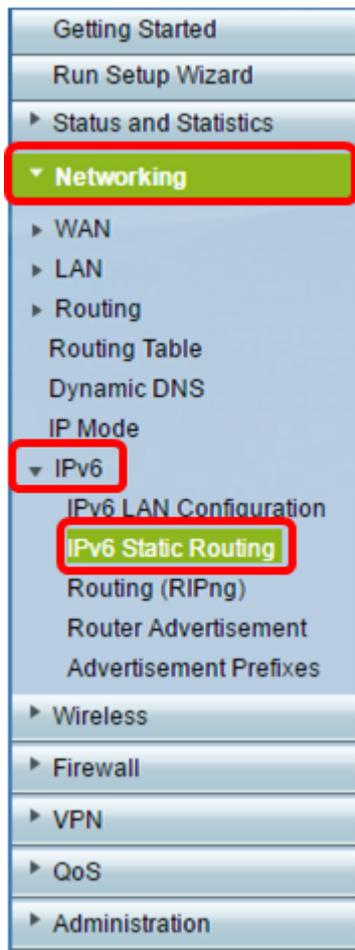
- RV132W
- RV134W

## [Software Version]

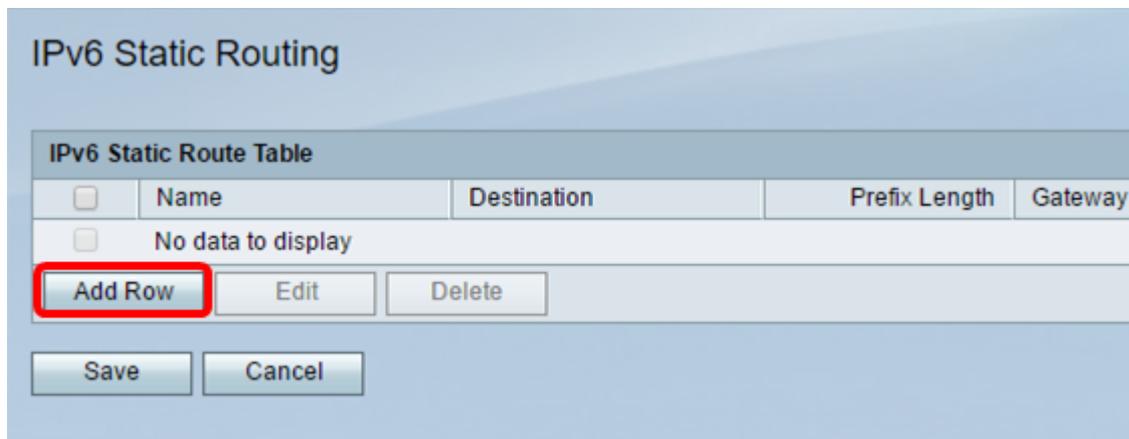
- 1.0.0.17 - RV132W
- 1.0.0.24 - RV134W

## IPv6スタティックルーティングの設定

ステップ1: Webベースのユーティリティにログインし、[Networking] > [IPv6] > [IPv6 Static Routing]を選択します。



ステップ2:IPv6スタティックルートテーブルで、[Add Row]をクリックします。



ステップ3:[Name]フィールドにルートの名前を入力します。

注：この例では、名前はServer1です。

IPv6 Static Routing

You must save before you can edit or delete.

<input type="checkbox"/>	Name	Destination	Prefix Length
<input type="checkbox"/>	Server1	FEC0:0000:0000:0000:0002	64

Add Row Edit Delete

Save Cancel

ステップ4：ルートの宛先ホストまたはネットワークのIPv6アドレスを入力します。

注：この例では、IPv6アドレスはFEC0:0000:0000:0000:0002です。

IPv6 Static Routing

You must save before you can edit or delete.

<input type="checkbox"/>	Name	Destination	Prefix Length
<input type="checkbox"/>	Server1	FEC0:0000:0000:0000:0002	64

Add Row Edit Delete

Save Cancel

ステップ5:[プレフィックス長]フィールドにプレフィックス値をビット単位で入力します。これは、宛先サブネットを定義するIPv6アドレスのプレフィックスビットの数です。この例では、64が入力されています。

IPv6 Static Routing

You must save before you can edit or delete.

<input type="checkbox"/>	Name	Destination	Prefix Length
<input type="checkbox"/>	Server1	FEC0:0000:0000:0000:0002	64

Add Row Edit Delete

Save Cancel

ステップ6：宛先ホストまたはネットワークに到達できるゲートウェイのIPv6アドレスを入力します。

注：この例では、ゲートウェイアドレスはFEC0:0000:0000:0000:0001です。

Gateway	Interface	Metric	Active
FEC0:0000:0000:0000:0001	VLAN1	3	<input checked="" type="checkbox"/>

ステップ7: ドロップダウンメニューからルートのインターフェイスを選択します。次のオプションがあります。

- LAN:LANインターフェイスは、ルートの出口インターフェイスです。
- WAN:WANインターフェイスは、ルートの出口インターフェイスです。
- DSL - WAN - DSL-WANインターフェイスは、ルートの出口インターフェイスです。

注: 列挙されたオプションはデフォルト設定です。ただし、この記事で使用されているルータのインターフェイスは変更されています。この例では、VLAN 1が選択されています。

ステップ8:[Metric]フィールドにルートの優先度を入力します。2 ~ 15の値を選択します。同じ宛先へのルートが複数ある場合は、メトリックが最も小さいルートが使用されます。

注: この例では、メトリックは3です。

Gateway	Interface	Metric	Active
FEC0:0000:0000:0000:0001	VLAN1	3	<input checked="" type="checkbox"/>

ステップ9:[Active]チェックボックスをオンにして、ルートをアクティブにします。ルートが非アクティブ状態で追加されると、そのルートはルーティングテーブルにリストされませんが、デバイスでは使用されません。ルートを追加するときにルートが使用できない場合は、非アクティブなルートを入力すると便利です。ネットワークが使用可能になると、ルートを有効にできます。

Gateway	Interface	Metric	Active
FEC0:0000:0000:0000:0001	VLAN1	3	<input checked="" type="checkbox"/>

ステップ10:[Save]をクリックします。

### IPv6 Static Routing

You must save before you can edit or delete.

IPv6 Static Route Table		
Name	Destination	Prefix Length
Server1	FEC0:0000:0000:0000:0002	64

Add Row Edit Delete

Save Cancel

これで、RV132WまたはRV134WルータでIPv6スタティックルーティングが正常に設定されました。